

### 3.3.2 経年変化

血液中ダイオキシン類濃度の年度別平均値を表 3.3.3、表 3.3.4及び図 3.2.7、図 3.2.8 に示す。

なお、表 3.3.3(1)、表 3.3.4(1)、図 3.3.7 は、今回（平成16年度）の調査参加者をそれぞれの過去の年度における調査参加者から抽出し算定したものである。一方、表 3.3.3(2)、表 3.3.4(2)、図 3.3.8 は、各年度の全対象者の平均値である。

平成12年度以前については分析法が違うので、比較には注意が必要であるが、平均値ではほぼ同程度の濃度レベルで推移している。

表 3.3.3(1) 大阪府能勢町地域の経年変化（本年度対象者のみ）

単位：pg-TEQ/g-fat

	大阪府能勢町地域					
	10年度	11年度	12年度	14年度	15年度	16年度
人数	15	17	20	15	18	26
PCDDs+PCDFs 平均値	23	16	17	21	19	19
標準偏差	12	10	10	13	15	13
Co-PCBs 平均値	15	12	12	14	12	12
標準偏差	11	8.2	8.8	9.9	9.3	7.6
PCDDs+PCDFs +Co-PCBs 平均値	39	29	30	35	31	31
標準偏差	23	18	19	22	23	20

注1：平成10年度から平成15年度の値は、今回（平成16年度）の調査参加者をそれぞれの年度における調査参加者から抽出し、算定したものである。

注2：平成12年度以前は分析法が異なる（平成12年度以前は50mL法）

表 3.3.3(2) 大阪府能勢町地域の経年変化（毎年度の対象者全員）

単位：pg-TEQ/g-fat

	大阪府能勢町地域					
	10年度	11年度	12年度	14年度	15年度	16年度
人数	32	37	36	22	19	26
PCDDs+PCDFs 平均値	23	17	16	20	20	19
標準偏差	15	11	10	12	14	13
Co-PCBs 平均値	13	11	11	13	12	12
標準偏差	9.0	6.3	8.6	9.3	9.1	7.6
PCDDs+PCDFs +Co-PCBs 平均値	36	28	28	33	32	31
標準偏差	22	16	18	21	22	20

注1：平成12年度以前は分析法が異なる（平成12年度以前は50mL法）

表 3.3.4(1) 埼玉県地域の経年変化（本年度対象者のみ）

単位：pg-TEQ/g-fat

	埼玉県地域					
	10年度	11年度	12年度	14年度	15年度	16年度
人数	7	23	23	19	19	25
PCDDs+PCDFs 平均値 標準偏差	16 6.5	16 7.1	16 7.6	21 9.0	16 16	20 8.2
Co-PCBs 平均値 標準偏差	10 5.5	11 5.7	9.7 5.3	13 7.9	18 28	12 6.0
PCDDs+PCDFs +Co-PCBs 平均値 標準偏差	25 12	27 12	25 12	33 16	41 43	32 20

注1：平成10年度から平成15年度の値は、今回（平成16年度）の調査参加者をそれぞれの年度における調査参加者から抽出し、算定したものである。

注2：平成12年度以前は分析法が異なる（平成12年度以前は50mL法）

表 3.3.4(2) 埼玉県地域の経年変化（各年度の対象者全員）

単位：pg-TEQ/g-fat

	埼玉県地域					
	10年度	11年度	12年度	14年度	15年度	16年度
人数	16	36	34	21	19	25
PCDDs+PCDFs 平均値 標準偏差	16 6.2	16 7.0	16 6.8	21 8.7	23 16	20 8.2
Co-PCBs 平均値 標準偏差	10 5.2	10 5.1	9.2 5.0	13 7.7	18 28	12 6.0
PCDDs+PCDFs +Co-PCBs 平均値 標準偏差	26 11	27 11	25 11	33 15	41 42	32 20

注1：平成12年度以前は分析法が異なる（平成12年度以前は50mL法）

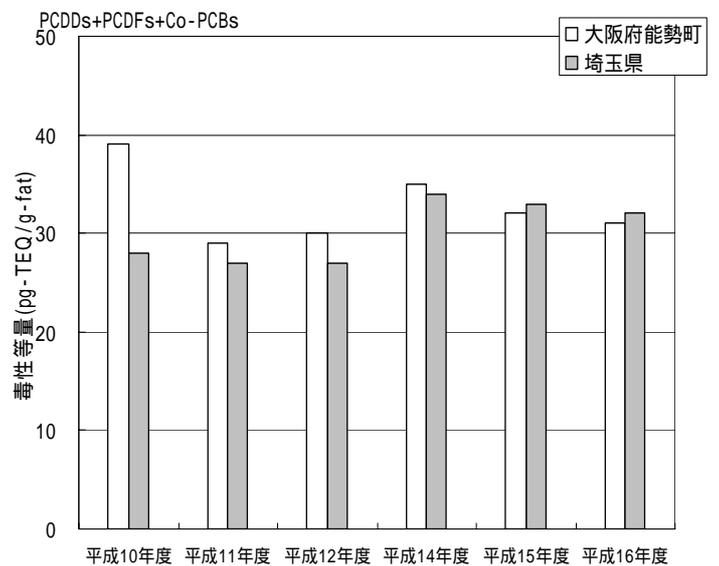
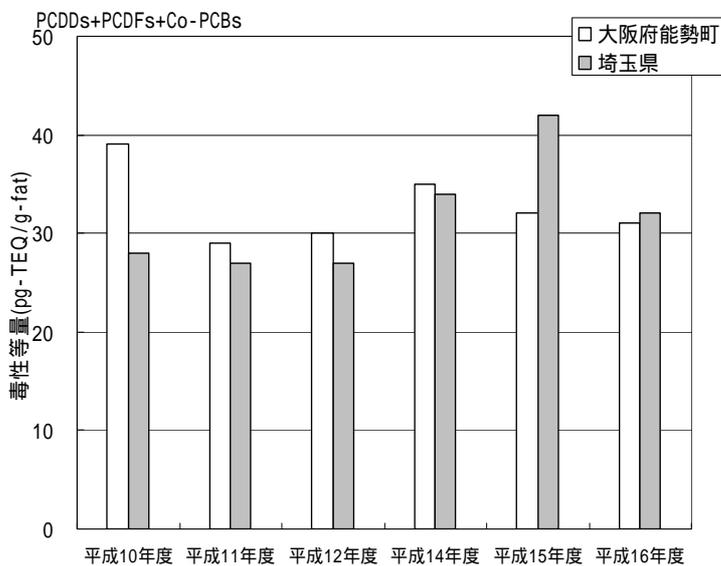
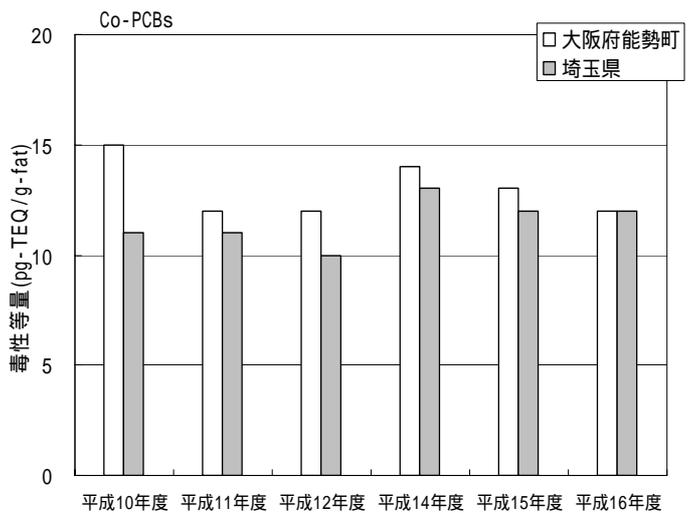
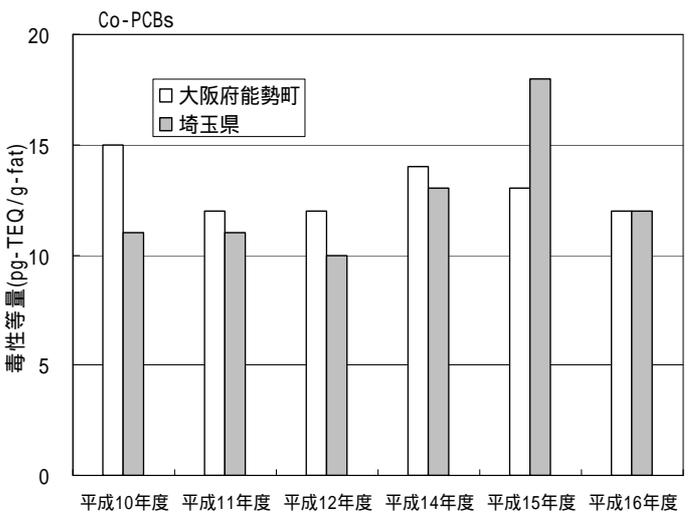
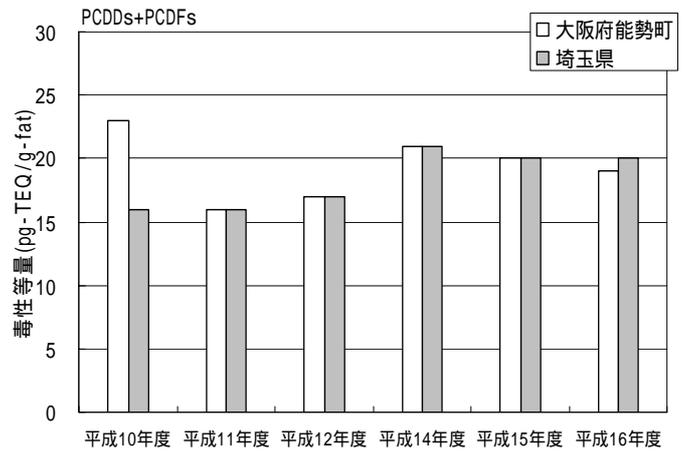
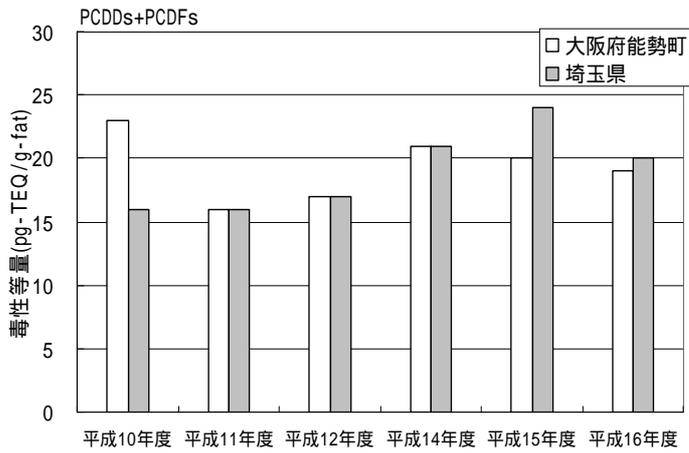


図 3.3.7(1) 血液中ダイオキシン類濃度の経年変化  
(本年度対象者のみの平均値)

図 3.3.7(2) 血液中ダイオキシン類濃度の経年変化  
(本年度対象者のみの平均値・外れ値除外)  
平成15年度の210pg-TEQ/g-fatを外れ値とし、データから除外した。

注：平成12年度以前のデータは分析法が異なる（平成12年度以前は50mL法）

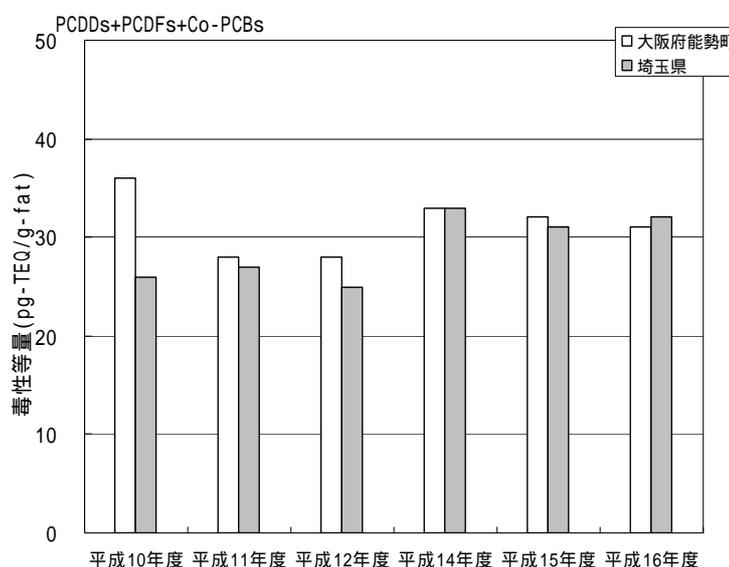
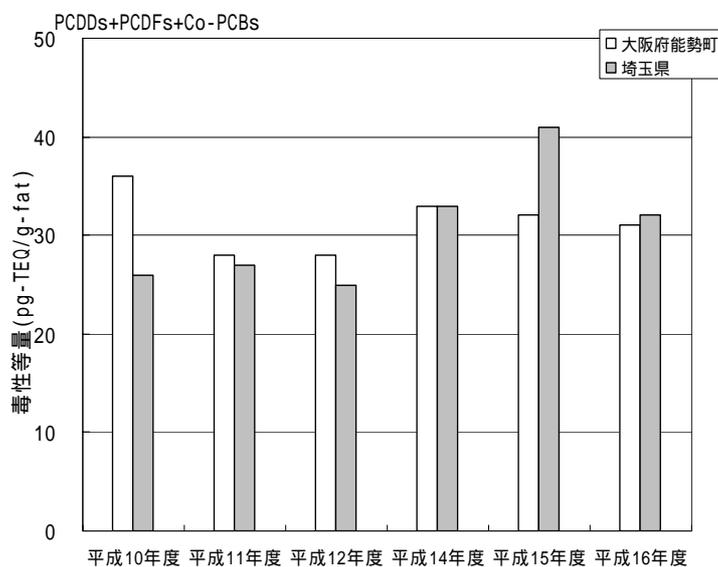
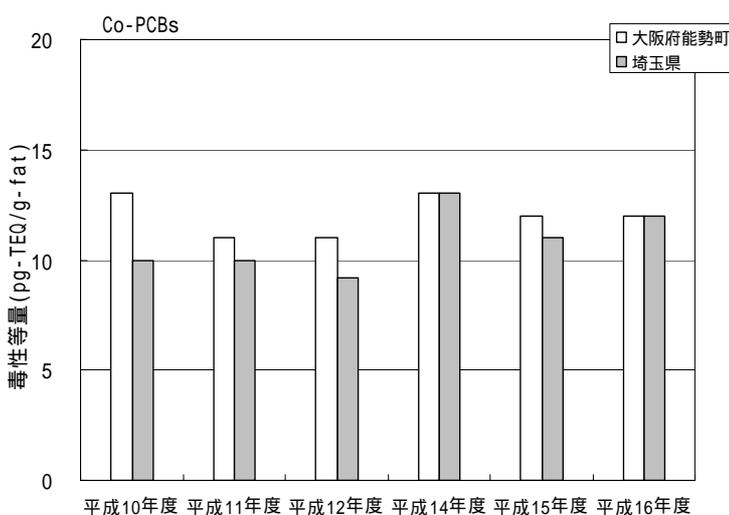
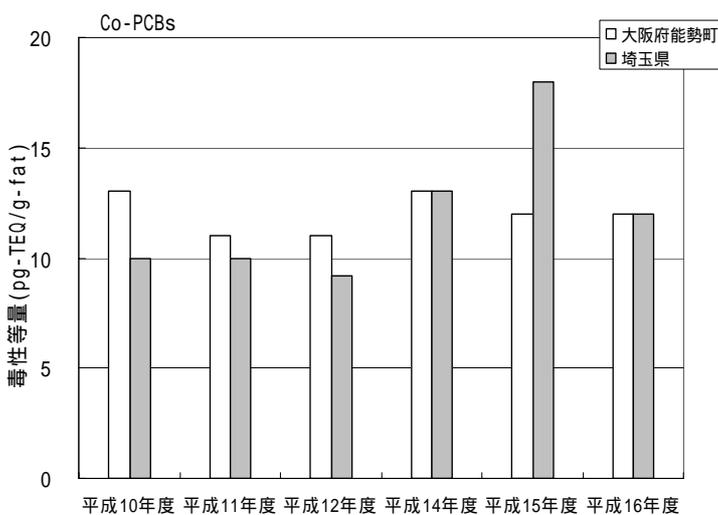
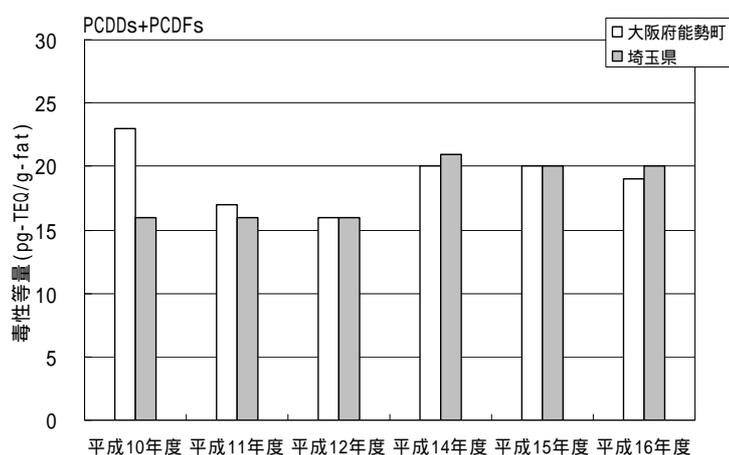
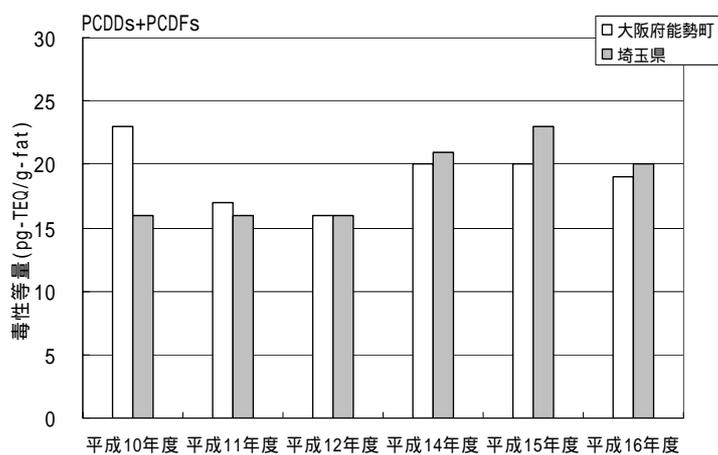


図 3.3.8(1) 血液中ダイオキシン類濃度の経年変化  
(各年度の対象者全員の平均値)

図 3.3.8(2) 血液中ダイオキシン類濃度の経年変化  
(各年度の対象者全員の平均値・外れ値除外)  
平成15年度の210pg-TEQ/g-fatを外れ値とし、データから除外した。

注：平成12年度以前のデータは分析法が異なる（平成12年度以前は50mL法）